

第6回日本時間生物学会学術大会報告

大会会長 塚原保夫

第6回日本時間生物学会学術大会が、東北大学・大学院情報学研究科・塚原保夫教授を大会会長とし、平成11年18日から19日仙台市福祉プラザを会場に開催された。「循環器系の時間医学」と「光受容分子と親時計の分子機構」と銘打ったシンポジウム2題、および44題の口演、32題のポスター発表が行われ、引き続き「市民公開講演会：眠れぬ夜のために」が開催された。シンポジストを含めた発表者

総数が91名におよび、当日参加者を含め212名の参加者があり、活発な質疑応答が繰り広げられた。市民公開講演会には70名の聴衆が集まり興味ある講演に熱心に耳を傾けた。また、本大会において学会に多大な貢献をされた千葉喜彦氏に対し、名誉学会員の授与が行われた。晩秋の仙台での開催であったが、幸い天候にも恵まれ盛況の内に終わることができた。

第7回日本時間生物学会の御案内

大会会長

大塚邦明

(東京女子医科大学)

日時：2000年11月9日（木）、10日（金）

場所：東京都市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷」

シンポジウム

「無拘束長時間モニタリングの進歩」

「視交叉上核の最近の話題（仮題）」

特別講演

「エコロジーの世界と医学」

ランチョンセミナー

「生命現象のゆらぎと複雑性」

「睡眠モニタリングとテレメディスン」

サテライトシンポジウム

第1回「太陽・地球・生態系
と時間治療研究会 Workshop

on Chronoastrobiology and
Chronotherapy」

日時：2000年11月11日（土）

場所：東京都市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷」